

近畿地方整備局 福井河川国道事務所
資料配布

配布日時	平成28年11月16日 14:00
------	-------------------

件名	<h1>国内初！河川内を上空から測量</h1> <p>～航空レーザ測量（グリーンレーザ）を活用した河川の定期縦横断測量～</p>
----	--

概要	<p>福井河川国道事務所では、今年度実施する九頭竜川の定期縦横断測量において、航空レーザ測量（グリーンレーザ）を活用した測量を実施します。</p> <p>今まで試験的に実施されたことはありましたが、航空レーザ測量を本格的に活用して実施するのは国内では初めてになります。</p> <p>今回は、波長の短いレーザ（グリーンレーザ）を活用することにより、従来計測できなかった水中も計測可能になりました。</p> <p>従来の測量では、一定間隔（200m程度）の断面データしか得られなかったものが、レーザ測量を行うことにより河川内の地形データを連続的に3次元で取得することが可能となることから、今後、河川の維持管理にも寄与するものと考えております。</p> <p>業務名：九頭竜川上流部縦横断測量業務 業務場所：九頭竜川 18.0k～29.0k（中角橋付近から鳴鹿大堰まで） 履行期間：平成28年10月21日～平成29年5月31日</p>
----	---

取扱い	—
-----	---

配布場所	福井県政記者クラブ
------	-----------

問い合わせ先	国土交通省 近畿地方整備局 福井河川国道事務所 福井県福井市花堂南2-14-7 電話 0776-35-2661（代表） 副所長（河川） 五十川 政志（内線204） 調査第一課長 福岡 浩史（内線351）
--------	---

# グリーンレーザを活用した河川の定期縦横断測量

## ①定期縦横断測量とは

国が管理する河川では、定期的(概ね5年に1回)に堤防の高さ(縦断)や河川の中(横断)を測量しています。



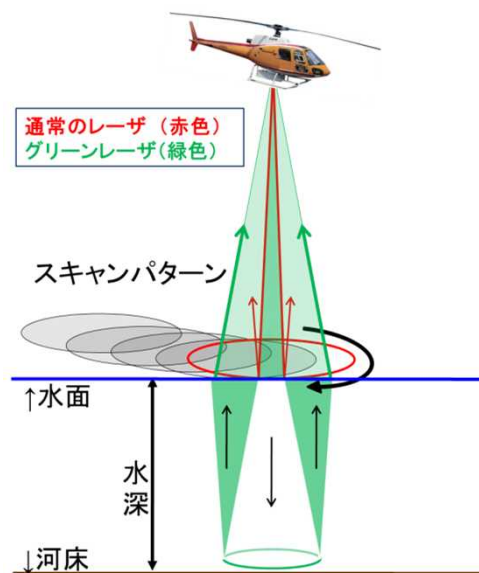
陸上の測量(水準測量)

水中の測量(音響測深)

## ②グリーンレーザとは

航空機からレーザ光を発射することで、地形の測量を行う航空レーザ測量の技術で、通常のレーザ光(赤色)より波長の短いグリーンレーザ(緑色)を使用することにより水中の地形も計測できるようにしたものです。

ALB(Airborne Lidar Bathymetry)とも呼ばれています



(航空機による測量のイメージ)

## ③特徴Ⅰ 効率化

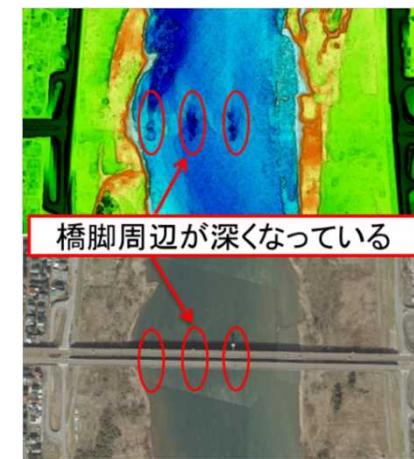
航空機を用いて測量するため、延長が長くても効率的に作業できます(従来、20日程度かかった測量作業が2時間程度で可能)。特に、水中部における負担軽減が期待されます。



(今回の測量範囲:九頭龍川18.0k~29.0k)

## ④特徴Ⅱ 3次元データ

現在の定期縦横断測量では一定間隔(200m程度)の横断データしか得られませんでした。航空レーザ測量により、河川内の地形データを連続的に3次元で取得することが可能となり、従来、一定間隔の間にあったモノ(橋梁など)の周辺の状況も、わかるようになります。



(3次元データでわかる橋梁周辺の状況)